

# 連歌作品募集(初折裏十四)

## 応募方法

○連歌ボックス(コスメイト行橋)

メール・ファクス・郵便

- ・規定の応募用紙に必要事項をご記入の上、ご応募下さい。
- ・一人一句とします。
- ・メールの場合は応募用紙と同等の内容をご記入ください。

○選者 行橋市連歌企画委員(前田賤) ○投句料 無料

## 初折裏第十三句講評

ひまわり連歌会からの句です。

## 【申込み・問合せ】

〒824-8601  
 福岡県行橋市中央1丁目1番1号  
 行橋市教育委員会 文化課  
 TEL: 0930-25-1111 (内線 1167)  
 FAX: 0930-25-1582  
 E-mai: bunkaka@city.yukuhashi.lg.jp

## 初折裏第十三句 子らの声舞ふや吹雪の花は八重 康一 春

灌仏会の甘茶祭りが行われている境内は賑やかな子どもたちの声がします。折からの優しい風に満開の桜は吹雪となって花びらが舞い降りております。お釈迦様の誕生日四月十日は遅咲きの八重桜も開き、未来そのものである子ども達の将来を祝福しているようです。

今を生きる子どもたちは歴史や文化や社会、科学を学ぶことによって、花咲く平和な世界の一員となつて生きますように、との願いを花に込めて大人からのエールと理解しました。

さて、このボックス連歌は最後一句を残すのみとなりました。今井連歌の約束事で挙句は「めでたくて春季を帯びて漢字止め」ということになっております。「漢字止め」とは名詞で終わることです。明治以降に日本語文法が体系付けられました。それをなした国語学者こそ現在の連歌バイブルともいえる「連歌方式綱要」「連歌概説」を著した山田孝雄(よしお)博士です。連歌での「体」「用」の用い方も納得が出来ますね。

では奮つて挙句にご応募くださいませ。七七で季は春で障りは述懐のみのようなようです。

令和3年2月17日(水) 13時締め切り。

切り取り線

## 連歌応募用紙

※採用句発表のお知らせ方法をお選び下さい。  
メール ファクス 郵送

ふりがな	氏名 (本名)	性別	年齢
		女・男	歳
住所	電話番号 ( ) - ( )		
	FAX番号 ( ) - ( )		
	E-mail		

初折裏第十二句	逝きしみたまへ甘茶供へむ	ヨシ子 春
初折裏第十三句	子らの声舞ふや吹雪の花は八重	康一 春
初折裏第十四句	(七・七)	

※応募作品は返却しません。また応募作品の著作権は当市に属するものとします。  
 ※いただいた個人情報を取り扱いに注意するとともに、この事業の目的以外には使用いたしません。

☆これまでの採用句は裏面に掲載しています☆